

2024年12月期 第2四半期(中間期)
決算説明資料

2024年9月17日

六甲バター株式会社

(証券コード:2266)

1. 2024年12月期第2四半期(中間期)業績
2. 2024年12月期通期計画
3. 重点取組み項目の進捗状況
4. ビジョン2030・中期経営計画2027
5. Appendix

1. 2024年12月期第2四半期(中間期)業績
2. 2024年12月期通期計画
3. 重点取組み項目の進捗状況
4. ビジョン2030・中期経営計画2027
5. Appendix

前年同期比・計画比とも減収増益

売上高 : 213億円(前期比△5億円・計画比△9億円)

営業利益: 11億円(前期比+13億円・計画比+4億円)

売上高

- 2023年5月末をもってチョコレート製品の販売を終了
- チョコレート部門のマイナス(△10億円)を、主にチーズ部門の価格改定効果でカバーする計画であったが、販売数量が想定を下回り前期比・計画比とも減収

営業利益

- 為替変動の影響はあったものの、価格改定や外貨建原料価格低下による利益率改善が計画を上回る内容であったこと等から前期比・計画比とも増益

(百万円)

	2023年12月期 第2四半期(中間期)実績	2024年12月期 第2四半期(中間期)計画*	2024年12月期 第2四半期(中間期)実績	対前年同期増減額	対前年同期増減率	対計画増減額	対計画増減率
売上高	21,944	22,300	21,349	△ 595	△3%	△ 951	△4%
営業利益	△ 198	700	1,123	+1,321	-	+423	+60%
経常利益	△ 139	800	1,233	+1,372	-	+433	+54%
当期純利益	△ 147	300	903	+1,050	-	+603	+201%
売上高 営業利益率	-	3%	5%				

*2024年2月9日公表の当初計画

【サマリー以外の補足説明】

- 為替差益157百万円
外貨建資産(預金・債券)の評価益
- 関係会社支援費用76百万円
QBBベトナム及びECI(インドネシア合弁)への出向社員関連費用

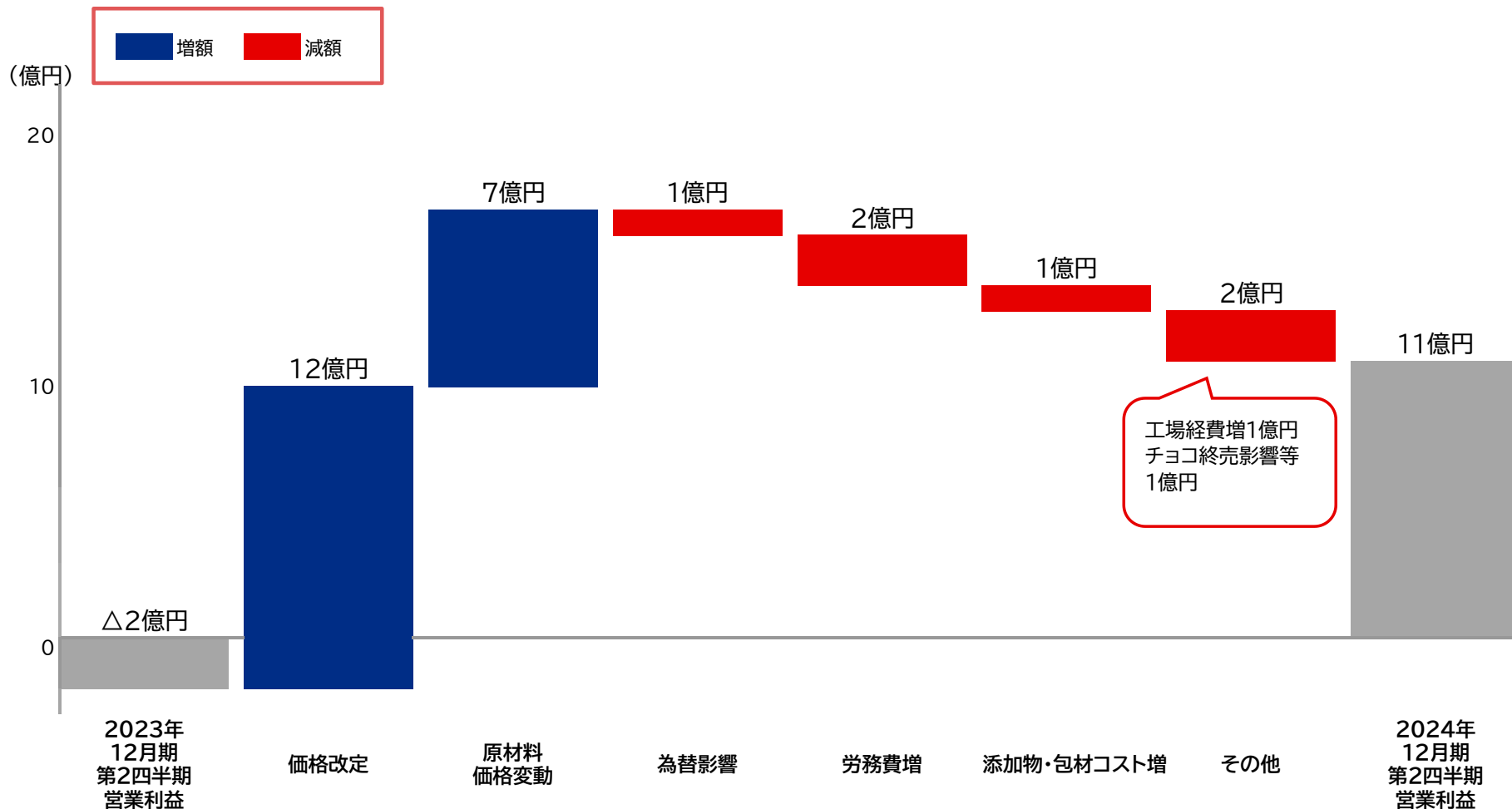
(百万円)

	2023年12月期 第2四半期(中間期)実績	2024年12月期 第2四半期(中間期)計画*	2024年12月期 第2四半期(中間期)実績	対前年増減額	対前年増減率	対計画増減額	対計画増減率
チーズ	20,472	21,800	20,896	+424	+2%	△ 904	△4%
ナッツ	288	300	303	+15	+5%	+3	+1%
チョコレート	1,080	0	0	△ 1,080	△100%	-	-
デザート・その他	103	200	149	+46	+45%	△ 51	△26%
合計	21,944	22,300	21,349	△ 595	△3%	△ 951	△4%

*2024年2月9日公表の当初計画

- チーズ部門:価格改定が浸透し前期比ではプラスとなるも、販売数量が想定を下回り計画比ではマイナスの実績
- ナッツ部門はほぼ計画通り
- デザート・その他部門は、主にオーツミルクの販売増により前期比でプラスとなるも計画した水準には届かず

■ 価格改定効果と原料価格の良化により収益状況が改善、為替影響や労務費・資材コスト増等を吸収し前年同期比プラスの実績



(百万円)

資産	2023年12月期	2024年12月期 第2四半期(中間期)	増減
流動資産	24,738	25,074	+336
固定資産	26,246	25,999	△ 247
有形固定資産	21,012	20,242	△ 770
無形固定資産	141	158	+17
投資その他資産	5,092	5,598	+506
資産合計	50,985	51,074	+89

負債	2023年12月期	2024年12月期 第2四半期(中間期)	増減
流動負債	16,045	16,759	+714
固定負債	4,843	3,531	△ 1,312
負債合計	20,888	20,291	△ 597
純資産			
純資産合計	30,096	30,782	+686
自己資本比率	59.0%	60.3%	+1.3%

【主な増減項目】

現預金増720百万円

機械設備等新規計上319百万円

減価償却費△1,003百万円

投資有価証券評価増456百万円

【主な増減項目】

短期借入金1,000百万円

長期借入金△1,500百万円

(百万円)

	2023年12月期 第2四半期(中間期)	2024年12月期 第2四半期(中間期)	増減
営業活動によるキャッシュフロー	2,037	1,787	△ 250
投資活動によるキャッシュフロー	△ 717	△ 189	+528
財務活動によるキャッシュフロー	△ 895	△ 992	△ 97
現金及び現金同等物の換算差額	0	0	△ 0
現金及び現金同等物の増減額	424	605	+181
現金及び現金同等物の期末残高	5,246	6,267	+1,021

- 投資活動によるキャッシュフローの主な内訳
生産設備等支払137百万円、システム更新費用28百万円
- 財務活動によるキャッシュフローの主な内訳
借入金減少500百万円、配当金支払486百万円(記念配当含む)

1. 2024年12月期第2四半期(中間期)業績
2. 2024年12月期通期計画
3. 重点取組み項目の進捗状況
4. ビジョン2030・中期経営計画2027
5. Appendix

(百万円)

	2023年12月期 実績	2024年12月期 計画	対前年増減額	対前年増減率
売上高	44,296	45,300	+1,004	+2%
営業利益	626	1,800	+1,174	+188%
経常利益	652	1,900	+1,248	+191%
当期純利益	446	1,050	+604	+135%
売上高 営業利益率	1.4%	4.0%		
一株当たり 配当金	25円*	20円		

*100期記念特別配当(5円)実施

■足許の状況に鑑み、従来の通期計画を維持

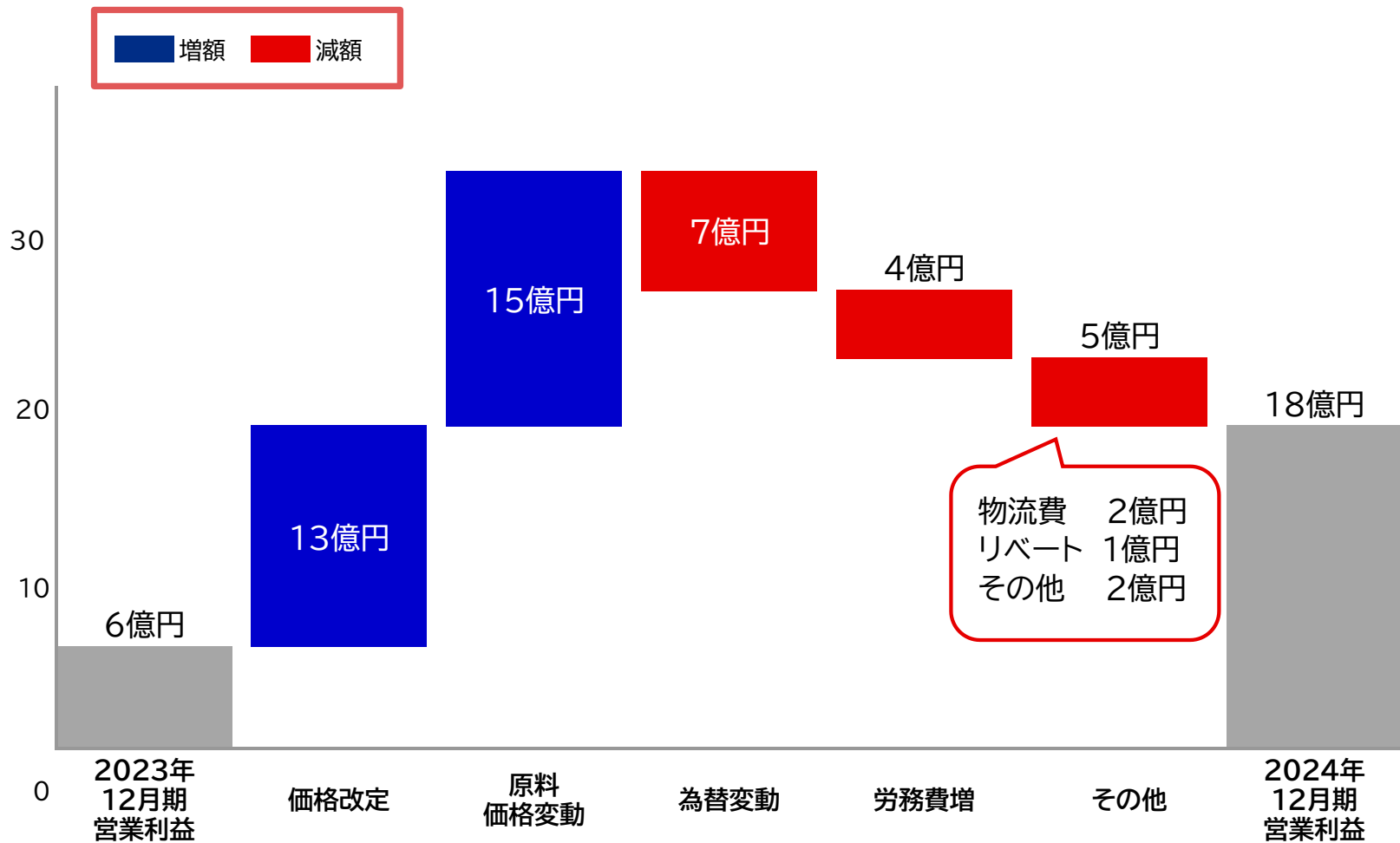
- 消費低迷の影響で上期の販売数量は当初想定を下回ったが、新商品投入・販促キャンペーン強化等を通じキャッチアップを図る
- 足許の輸入原料価格は若干上昇傾向、為替は足許円高方向に転じているが、これまでの円安影響を勘案し下期の利益は当初想定を下回る見通し

(百万円)

	2023年12月期 通期実績	2024年12月期 通期計画	対前年実績増減額	対前年実績増減率
チーズ	42,358	44,250	+1,892	+4%
ナッツ	612	630	+18	+3%
チョコレート	1,080	0	△ 1,080	▲100%
デザート・その他	244	420	+176	+72%
合計	44,296	45,300	+1,004	+2%

- リンツチョコレート販売終了に伴う売上マイナスをチーズ部門の増収でカバー
- チーズ部門は家庭用・業務用ともに増収を計画するが、特に伸びしろの大きな業務用の販売拡大に期待
- オーツミルク・チーズアイスの新商品についても本格展開・販路拡大による増収を計画

■ 価格改定と原料価格の低下が円安・各種経費増を吸収し、前期比+12億円の増益を計画



【株主配当】

- ◆現時点において2024年12月期は**1株当たり20円の普通配当**を実施する計画であるが、今後の業績推移等を踏まえ、**還元規模は柔軟に検討**

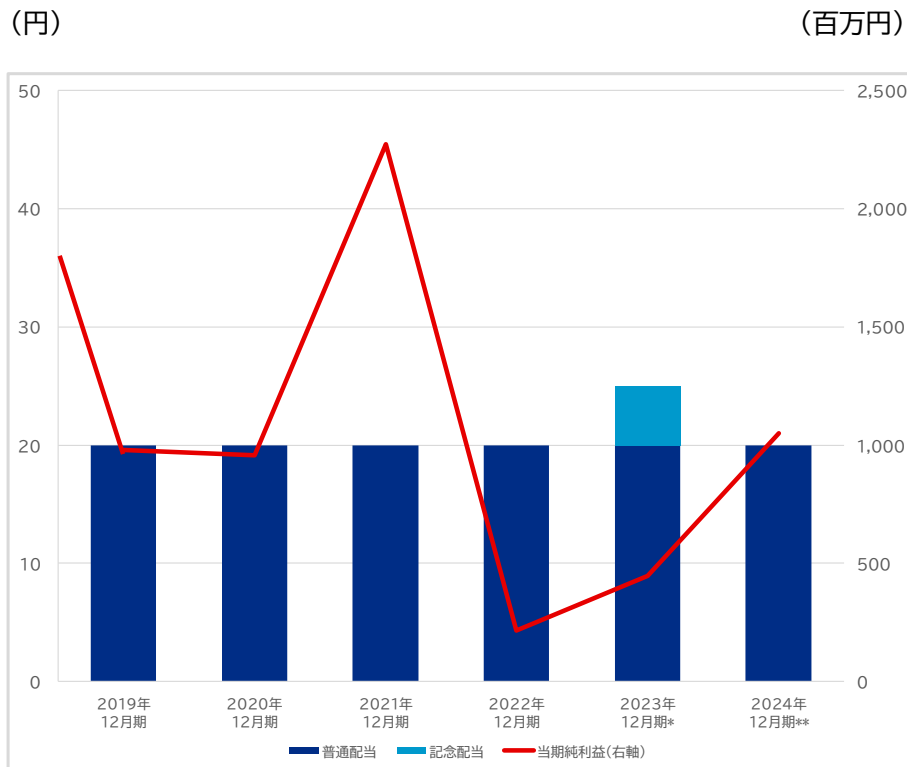
【自己株式取得】

- ◆自己株式取得については足許の株価動向等を総合的に勘案、実施せず

【保有自己株式有効活用】

- ◆現在保有する自己株式については、消却・株式報酬制度の導入等あらゆる可能性について検討を進める

当期純利益推移と配当実施状況



* 100期決算記念として1株当たり5円の記念配当を実施

**計画ベース

1. 2024年12月期第2四半期(中間期)業績
2. 2024年12月期通期計画
- 3. 重点取組み項目の進捗状況**
4. ビジョン2030・中期経営計画2027
5. Appendix

「事業成長」×「基盤強化」= 更なる企業価値向上へ

事業成長に向けて

■既存事業の高付加価値化追求

- 株式会社ミツヤグループ本社の株式49%取得
- 労働生産性水準の向上

■海外事業セクターの強化

- ベトナム現法・インドネシア合併を足がかりに

■新規事業の成長促進

- オーツミルク・チーズアイスの成長加速
- 植物性製品の本格展開に向けた準備

■新製品開発機能強化

- 各事業部門成長の原動力に

■ブランド価値向上への取組み強化

- 商品認知率等をKPIに設定

基盤強化に向けて

■中長期的な成長・投資戦略の策定

- ビジョン2030・中期経営計画2027を公表

■高付加価値人材の育成と環境整備

- 人事制度見直し・教育研修制度の充実

■食品安全文化構築に向けた取組み

- FSSC22000 Ver.6対応

■サステナビリティ推進強化

- GHG排出量・食品廃棄物量の削減目標達成

■各部門業務の一層の効率化

- 社内基幹システム更新
- 物流2024年問題対応など

※デザインリニューアル

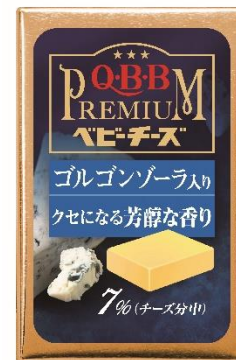
※デザインリニューアル



プレミアムベビーチーズ
濃厚ピスタチオ



プレミアムベビーチーズ
贅沢アーモンド



プレミアムベビーチーズ
ゴルゴンゾーラ入り



チーズデザート6P
フランボワーズ&ライチ
～ローズの香り～



じっくり燻製
スモークチーズ
ゆず胡椒入り 46g

※デザインリニューアル



包み カマンベール風味

※デザインリニューアル



包み ゴルゴンゾーラ風味

※デザインリニューアル



包み トリュフオイル入り



チーズパスタスナック
ブラックペッパー味 35g



チーズパスタスナック
カマンベール味 35g



燻製ミックスナッツ 50g



コーヒービーンズ
カフェラテチョコ 35g

チーズ好きの
ための植物性



・『QBB PLANT MADE』は、チーズ好きのお客様にこそ選んでいただきたい、植物性のチーズ代替食品のブランドです。

・昨年6月発売の業務用シュレッドに続き、24年3月から、同ブランド家庭用第一弾商品『Pシュレッド』の販売を開始しました。

・「おいしいから」で選ばれることを目指した『Pシュレッド』は、ITI(国際味覚審査機構)の優秀味覚賞を受賞しました。植物性のチーズ代替食品としては**日本初の快挙**です。

・来年開催される大阪・関西万博では、本商品を用いた植物性のメニューを提供するフードコートレストランを出店します。





・『CHEESE PATISSIER』は、
ちょっとクセがあるから、すごくクセになる
“おとな向けアイスクリーム”のブランドです。

・ブランドを広く知っていただくべく、国内で
最大のアイスクリームイベント「あいぱく」に
出展。多くのお客様から「この味わい、さすが
QBB！」と反響をいただきました。

・24年3月には業務用1Lタイプの販売を開始。
ホテル、カフェ、レストラン等での採用を着実に
増やしています。

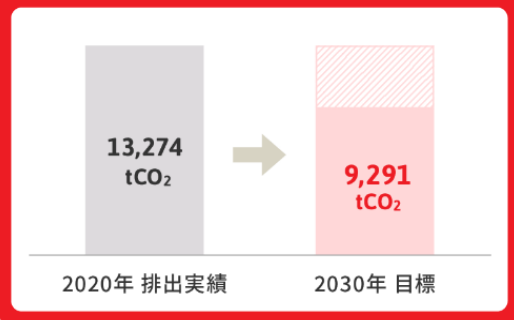
・新アイテムの追加、課題となっている物流網
の改善を進め、さらなる事業拡大に向けて
取り組んでまいります。



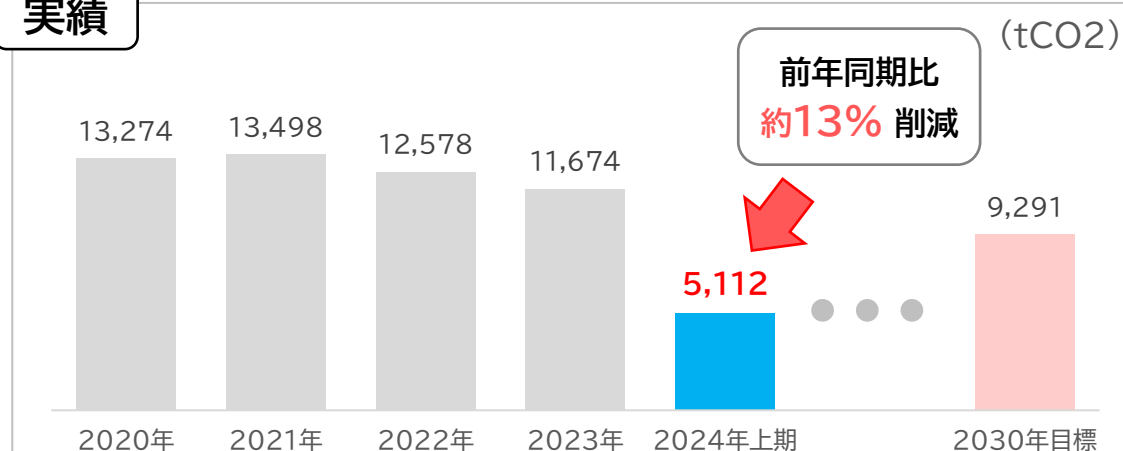
GHG排出量 (SCOPE1・2)

目標

30%削減
(2020年度比)



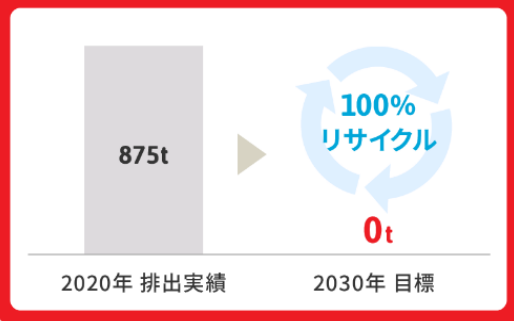
実績



食品廃棄物量

目標

0
(リサイクル率100%)



実績



長野工場の屋上に太陽光パネルを設置



2024年3月に長野工場の屋根に太陽光パネルが設置されました。これにより、現在長野工場で使用している**年間の使用電力量の10%を発電**することが出来ます。再生エネルギーを利用することで**年間で約90tのCO2削減効果**があります。

環境配慮包材の使用推進として レンジ用チーズフォンデュの容器を変更



新しい容器は原料となる石油使用量を従来容器よりも減らし、代替素材としてとうもろこし澱粉を使用した**バイオマス配合プラスチック**で出来ています。簡単につぶせるのでゴミの減容化に貢献することができ、焼却時の**CO2排出量も少ない環境にやさしい容器**です。

在籍人数

(人)

	2020	2021	2022	2023	2024.6月末
全従業員数	784	759	768	759	765
男性	490	485	490	481	501
女性	294	274	278	278	264
うち外国籍の方	11	12	12	9	10

*全従業員数に派遣社員の方は含まれていません

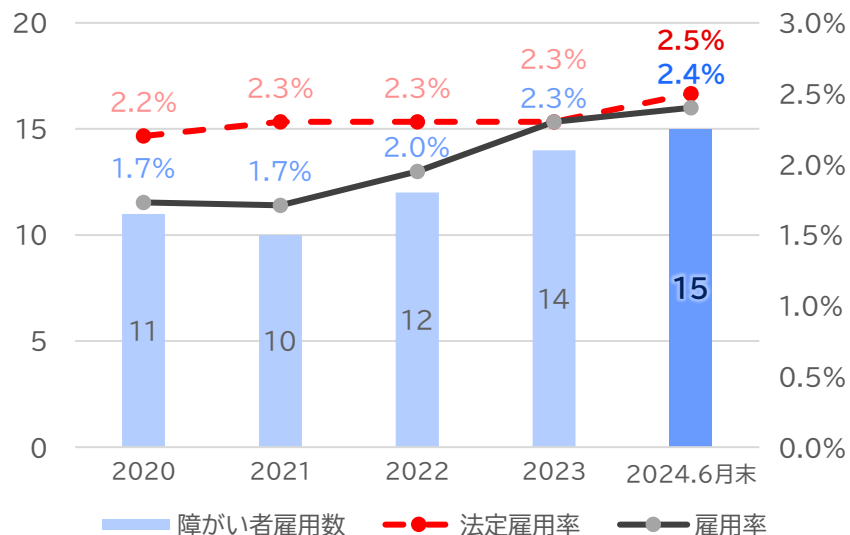
女性管理職・リーダー数の割合

(人)

	2020	2021	2022	2023	2024.6月末
女性管理職	3	3	3	3	3
管理職数に占める割合	4.3%	4.5%	4.4%	4.9%	4.9%
女性リーダー	4	4	5	8	8
リーダー数に占める割合	3.3%	3.3%	4.0%	4.0%	5.8%

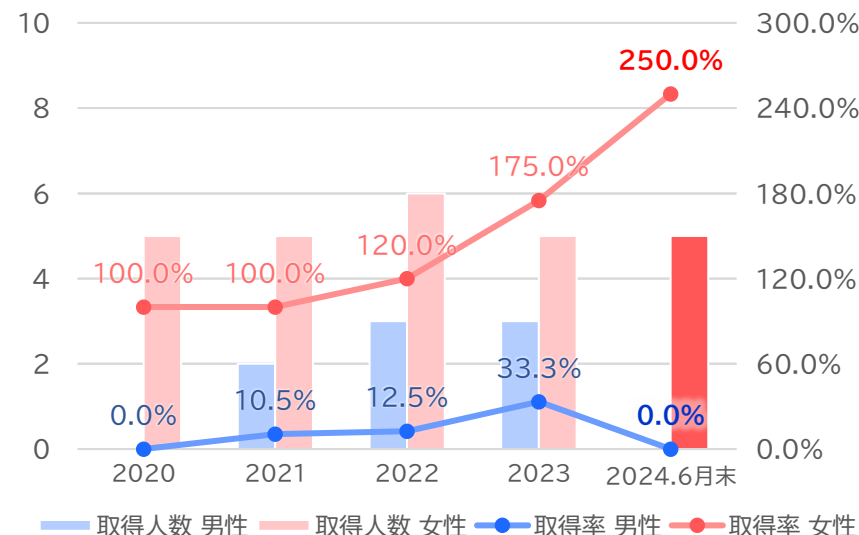
障がい者雇用数と雇用率

(人)



育休取得人数と取得率

(人)



*男性育休取得人数は下期に6名取得を予定しております

SNSキャンペーン運営 Xキャンペーン



フォロー&リポストで「チーズデザート詰め合わせセット」当たる!

写真投稿で「オリジナルお昼寝枕」当たる!

抽選で100名様!

抽選で15名様!

実施内容: Xフォロー&リポスト
 実施時期: 2024年9月1日(日)~9月30日(月)
 賞品: チーズデザート6P詰め合わせ、コバラヘリーノお昼寝枕

LINEキャンペーン

Q・B・B 祝15周年

チーズデザート6P

Cheese Dessert

1539名様

感謝お届けキャンペーン

Q・B・Bチーズデザート6Pを
購入したレシート画像で応募!

ご応募はLINEから! 詳細はこちら

対象商品
Q・B・Bチーズデザート6P全種

Xキャンペーンの当落結果からLINEキャンペーンに遷移

<p>3個購入コース</p> <p>抽選で39名様</p> <p>電源オンで手軽に目元エステ気分を満喫していただけます</p> <p>La Luna エアーマスクメタリックシルバー</p>	<p>1個購入コース</p> <p>抽選で500名様</p> <p>コバラヘリーノオリジナルスリッパ</p>	<p>Wチャンス</p> <p>抽選で1,000名様</p> <p>QUO Pay クオ・カードペイ</p> <p>QUOカードPay 1,000円分</p>
--	--	---

実施内容: LINEレシート応募
 実施時期: 2024年9月1日(日)~10月31日(木)
 賞品: コバラヘリーノオリジナルスリッパ他

癒し動画広告の配信

コバラヘリーノ(弊社キャラクター)が登場！



コバラヘリーノ達がチーズデザートを食べるために奮闘する、ホッと一息つきたいときに可愛く癒される動画です。

配信時期:2024年9月1日(日)~11月30日(土)

配信媒体:Tver、YouTube、Instagram

対象商品:チーズデザート6P(マダガスカルバニラ、瀬戸内レモン、ラムレーズン)

東京レガシーハーフマラソンに協賛

QBBブランドの健康価値をより一層強化します！

マラソン当日に、ランナーの栄養補給としてベビーチーズのサンプリングを行います。
また、チーズの栄養に関するコラムと動画広告を配信し、マラソン前後で消費者認知の獲得を目指します。

時 期: マラソン 2024年10月20日(日)
EXPO 2024年10月18-19日(金-土)



神戸マラソンに協賛

地元企業として地域社会への貢献を目指します！

ランナーに対してサンプリングを行うと共に、神戸学院大学と協業しマラソンレシピブックの作成・配布を行います。

時 期: マラソン 2024年11月17日(日)
EXPO 2024年11月15-16日(金-土)



1. 2024年12月期第2四半期(中間期)業績
2. 2024年12月期通期計画
3. 重点取組み項目の進捗状況
4. ビジョン2030・中期経営計画2027
5. Appendix

◆ 2024年6月に「ビジョン2030・中期経営計画2027」をリリース

- ① 2030年になりたい姿 = 高付加価値創造企業であることを宣言
- ② 2027年までの3か年を第1ステージとして数値目標を設定



代表取締役社長 兼CEO
塚本 浩康

「2030年 六甲バター株式会社は高付加価値創造企業へ」

収益と投資の好循環を実現
高付加価値創造企業への変革

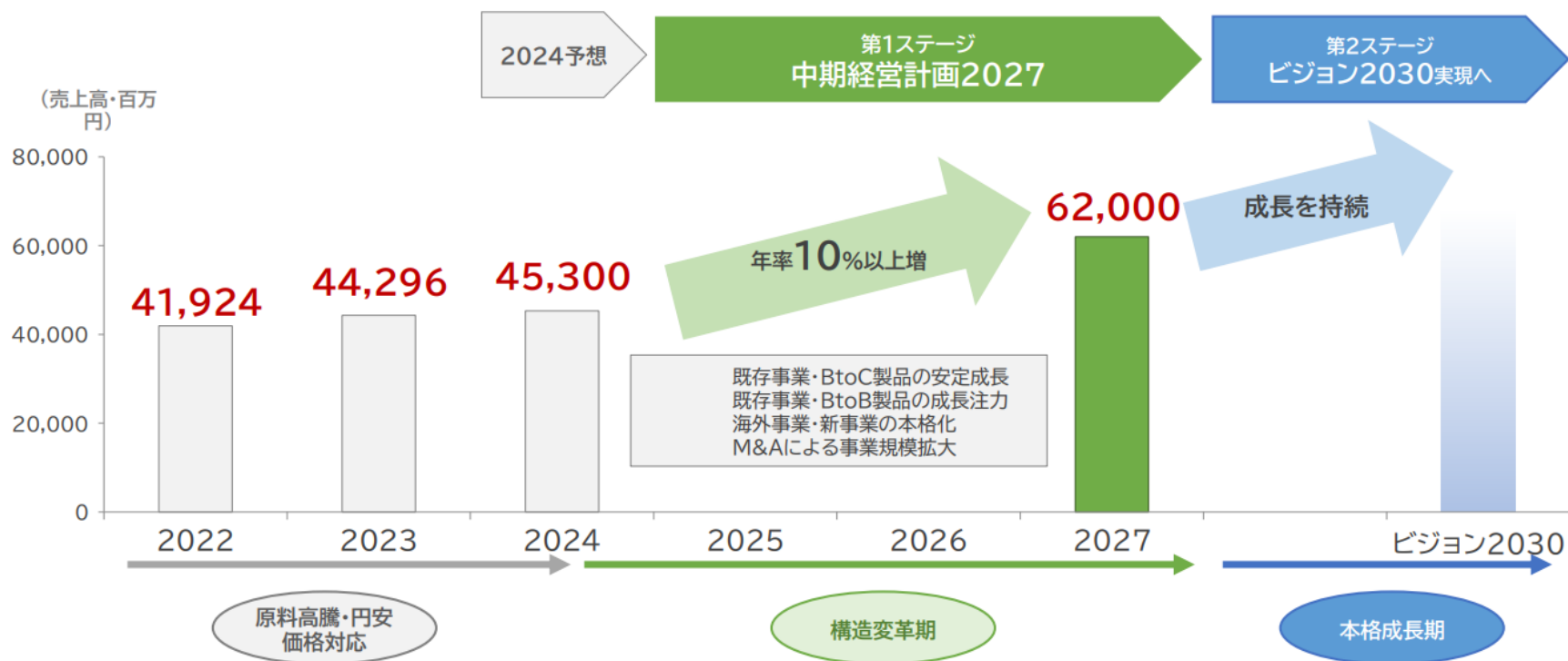
六甲バター株式会社は、経営理念「健康で、明るく、楽しい食文化の提供によって社会に貢献する」の実現のため、ビジョン「世界一のプロセスチーズメーカーを目指す」に向かい、日々企業活動を行っております。

この度、当社はそのマイルストーンとして、中長期経営方針「ビジョン2030」、第1ステージ「中期経営計画2027」を策定し、経営理念・ビジョン実現への方針と実施計画を決定いたしました。

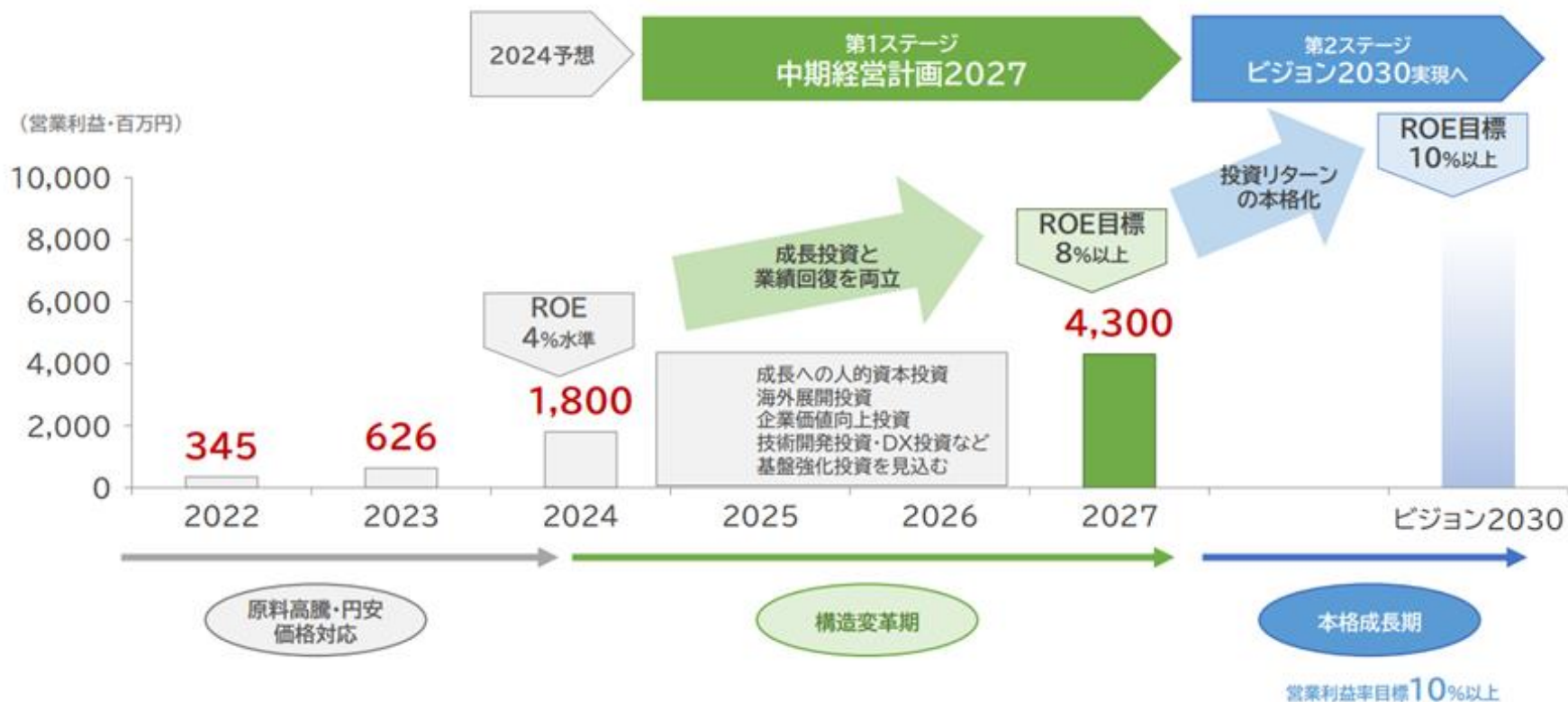
このビジョン2030は「事業成長方針」と「基盤強化方針」で構成されております。この2軸の方針(収益と投資)の好循環を中期経営計画で実行に移し、2030年に向けて『高付加価値創造企業』への変革と、持続的な収益拡大・企業価値向上を実現してまいります。



ステージの位置づけと戦略構成		
	第1ステージ 中期経営計画2027	第2ステージ
期間	2025年-2027年	2028年-2030年
位置づけ	投資開始・構造変革期	本格成長期
方針実行 戦略構成	【事業成長戦略】 ① 既存事業成長戦略 ② 海外事業成長戦略 ③ 新事業成長戦略	【基盤強化戦略】 ① 高付加価値開発投資 ② 高付加価値人材投資 ③ 高付加価値経営投資



- ◆中期経営計画第1ステージの最終年度(2027年12月期)売上目標を620億円に設定
- ◆既存事業(BtoC、BtoB)・海外事業・新事業(植物性商品等)の各部門の拡大に加え、M&Aを通じた事業規模拡大も視野



- ◆中期経営計画第1ステージの最終年度(2027年12月期)営業利益目標を43億円、ROE目標を8%以上に設定
- ◆目標達成に向け、高付加価値投資に重点的に経営資源を配分



株式会社ミツヤ

【会社概要】
 商号 株式会社ミツヤ
 代表取締役 原田 耕次
 創業 昭和23年6月
 設立 昭和38年9月
 資本金 3,000万円
 従業員数 328名
 事業内容 豆菓子 ナッツ類製造・販売
 製菓原料製造・販売
 所在地 福岡県福岡市南区






千成堂
SENNARIDO

【会社概要】
 商号 株式会社千成堂
 代表取締役 原田 耕次
 創業 昭和22年
 設立 昭和59年
 資本金 1,000万円
 従業員数 56名
 事業内容 ビーナッツ 木の実
 豆菓子の製造販売
 所在地 熊本県上益城郡益城町



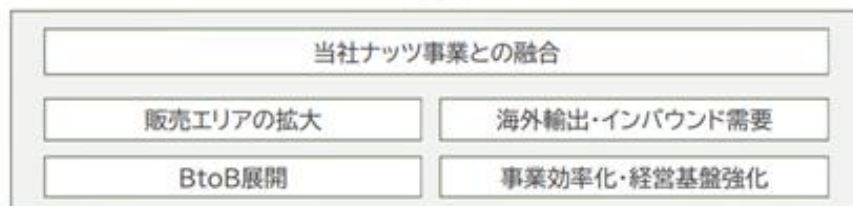

乳山三矢食品有限公司 日本向けビーナッツ加工事業



おいしいって、生きること。
 長年当社ナッツ事業
 OEM先として
 信頼関係を構築




シナジー・価値創造



2024年に49%株式を取得し関係強化
 時期は未定も、今後残り51%の株式の追加取得を協議

- ◆2024年7月株式会社ミツヤグループ本社の発行済株式の内49%を取得
- ◆ナッツ事業の融合と経営資源共有によるシナジー実現を通じ、グループの成長戦略を今後推進

1. 2024年12月期第2四半期(中間期)業績
2. 2024年12月期通期計画
3. 重点取組み項目の進捗状況
4. ビジョン2030・中期経営計画2027
5. Appendix

(百万円)

	2014年12月期	2015年12月期	2016年12月期	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期 第2Q(中間期)	2023年12月期	2024年12月期 第2Q(中間期)
売上高(※)	41,522	45,001	47,115	49,374	52,672	53,947	54,948	55,073	41,924	21,944	44,296	21,349
売上原価	24,732	26,022	24,863	26,359	29,155	31,887	32,487	32,180	35,452	19,081	37,589	17,121
粗利益	16,789	18,979	22,251	23,014	23,517	22,059	22,460	22,892	6,471	2,863	6,706	4,227
売上高粗利益率	40.4%	42.2%	47.2%	46.6%	44.6%	40.9%	40.9%	41.6%	15.4%	13.0%	15.1%	19.8%
販売管理費	14,869	15,984	17,054	18,143	19,159	19,825	20,520	20,526	6,126	3,062	6,079	3,103
営業利益	1,920	2,994	5,197	4,871	4,358	2,234	1,940	2,366	345	▲198	626	1,123
売上高営業利益率	4.6%	6.7%	11.0%	9.9%	8.3%	4.1%	3.5%	4.3%	0.8%	▲0.9%	1.4%	5.3%
営業外収益	135	75	72	82	95	96	71	217	224	156	212	235
営業外費用	28	32	63	67	129	149	344	352	210	97	186	125
経常利益	2,027	3,038	5,205	4,886	4,324	2,181	1,667	2,232	359	▲139	652	1,233
売上高経常利益率	4.9%	6.8%	11.0%	9.9%	8.2%	4.0%	3.0%	4.1%	0.9%	▲0.6%	1.5%	5.8%
当期純利益	1,019	1,945	3,431	3,330	2,935	980	956	2,271	219	▲147	446	903
売上高当期純利益率	2.5%	4.3%	7.3%	6.7%	5.6%	1.8%	1.7%	4.1%	0.5%	▲0.7%	1.0%	4.2%

* 2022年12月期より収益認識基準適用

「世界一のプロセスチーズメーカー」を目指して

(億円)



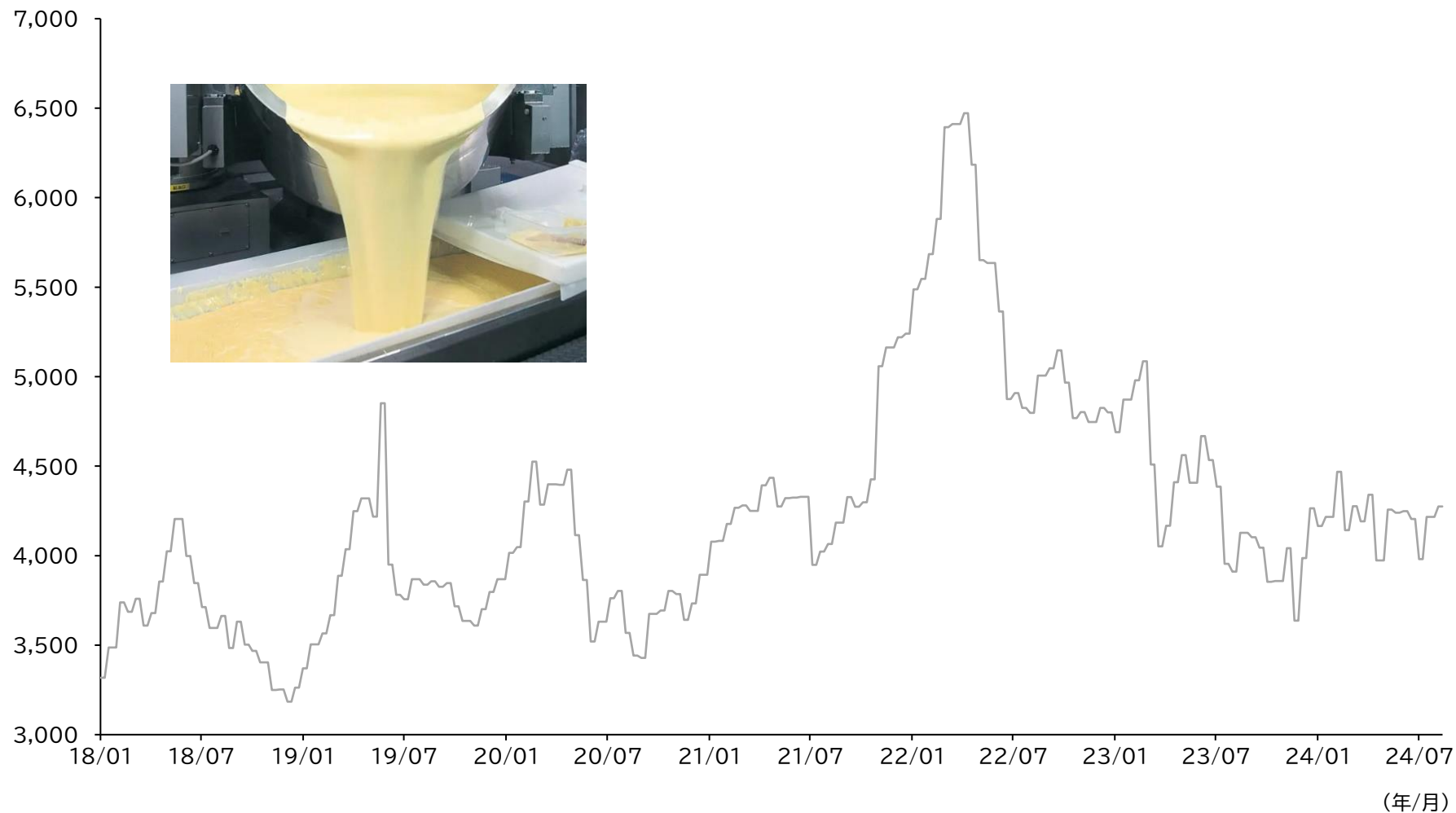
USD/円為替相場推移



出所:QUICKのデータをもとに当社作成

チーズ原料価格推移(GLOBAL DAIRY TRADE チェダーチーズ価格)

(USD/トン)



出所: Bloombergのデータをもとに当社作成



「2030年 六甲バター株式会社は高付加価値創造企業へ」

- ◆ 本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定はご自身でご判断をお願いします。
- ◆ 本資料に記載された業績計画などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- ◆ 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。